令和８年　第１５８回　６月定例会

一　般　質　問

（１４人中１番から７番）

順序	質問議員	質　問　項　目
１	東垣　典雄	１．人口減少対策を問う。 ２．部活動の長距離移動の安全を問う。
２	見塚　　修	いのちとくらしを守り、住んでよかったと思えるまちづくりを求めて（Part５） （福祉施設の充実） １．福祉村「やすらぎの森」の充実、機能強化策について伺う。 （資産を生かす） ２．山手町有地の活用について現状、計画を伺う。
３	藤井　昌彦	１．ﾜｰﾙﾄﾞﾏｽﾀｰｽﾞｹﾞｰﾑｽﾞ開催について ２．登山ｲﾝﾀｰﾊｲについて
４	西谷　　尚	１．冬季ｽｷｰ場へのｱｸｾｽ道について問う。 ２．町指定ｺﾞﾐ袋の安定供給について問う。
５	松岡　大悟	１．小代区が加盟している「日本で最も美しい村」連合の活動において、町行政としての今後の関わり方について問う。
６	脇坂　英作	１．地域計画に対する町の基本姿勢について問う。 ２．地域計画策定に向けた説明会と町の支援内容について問う。 ３．地域計画を活用した農業振興施策について問う。
７	伊藤　敦紀	１．Uﾀｰﾝ促進に向けた取組の現状と課題について

令和８年　第１５８回　６月定例会

一　般　質　問

（１４人中８番から１４番）

順序	質問議員	質　問　項　目
８	山本　賢司	１．乳幼児、こども医療費無料制度が掘り崩される危険が生まれている。 ２. 町は造林された山を財産として評価しているのか。 ３．農地を守るために (1) 水路整備へ (2) 期中制度変更 ４．村岡区中央公民館改築の検討状況はどうなっているのか。住民と共に検討すべき。
９	中村　崇志	１．高齢化が進む行政区、今後について問う。 ２．業務量管理・健康確保措置実施計画について問う。 ３．観光戦略（町内　広域 回遊型）について問う。
１０	山根　典明	１．商品であって使用しない軽自動車などについて軽自動車税免除は各市区町村で違う様ですが？ ２．「700 人の村が一つのﾎﾃﾙに」という本を読まれたことがありますか？ ３．各区の道路事情急傾斜地による側溝の清掃・樹木の伐採など要望はどうなっているか？
１１	村田　行信	１．第 3 期香美町総合戦略の初年度における施策の実行について(観光) 2. 第 3 期香美町総合戦略の初年度における施策の実行について(移住定住)
１２	森浦　　繁	１．ﾄﾞｸﾀｰﾍﾘの運行対策について問う。 ２．町所有のﾏｲｸﾛﾊﾞｽの運用について問う。 ３．児童の通学における安全確保と保護者負担の軽減について問う。
１３	谷口　眞治	１．憲法改正について問う。 ２．物価高・資材不足からくらしと営業を守る緊急対策について問う。 ３．香美町最終処分場の廃止に向けた環境保全対策について問う。
１４	田野　公大	１．人口減少が進む中での町の活性化にどう取り組むか。

第１５８回　６月定例会　一般質問の順序と要旨

発言議員：　東垣　典雄　　　　　　　　　　　　　　No.１

質問項目	質問事項	質問の相　手
１．人口減少対策を問う。	2025年の国勢調査速報値が発表されました。 香美町は、前回(2020 年調査)に続き、人口減少率県内ﾄｯﾌﾟの 12.66%、前回(2020 年調査)11.1%減、となっており、この10年間の人口減少をどう捉え、どう改善していくのか伺う。 (1) 香美町人口ﾋﾞｼﾞｮﾝ(第3版)･第3期香美町総合戦略が示されているが、 ① 「第2期総合戦略の達成状況」基本目標達成状況から人口減少抑制の施策の検証を伺う。 ② 将来人口推計から、今後の人口減少にどう歯止めをかけるのか対策と施策を問う。	町　長

質問項目	質問事項	質問の相　手
２．部活動の長距離移動の安全を問う。	福島県郡山市の磐越自動車道で高校生が死亡したﾏｲｸﾛﾊﾞｽ事故は、部活動のため長距離移動中に起きた痛ましい事故でした。 中学校の部活動での長距離移動の安全確保について伺う。 (1) 長距離移動時の安全対策を伺う。 ① 公式大会での遠征について ② 練習試合などの遠征について	教育長

第１５８回　６月定例会　一般質問の順序と要旨

発言議員：　見塚　修　　　　　　　　　　No.２

質問項目	質問事項	質問の相　手
いのちとくらしを守り、住んでよかったと思えるまちづくりを求めて(Part５)（福祉施設の充実) １．福祉村「やすらぎの森」の充実、機能強化策につて伺う。	5 月に開催した総務民生常任委員会の所管事務調査において、福祉課から「香美町障害者ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ(ﾚｼﾞﾃﾞﾝｽｶｽﾐ A･B･C)」の移転整備について発表があった。 福祉村「やすらぎの森」は平成 4 年度に福祉の拠点として整備された区域、施設であるが、今回の発表で更なる福祉施設の機能集積、拠点としての位置づけと考える。よって施設の充実、機能強化策について (1) 今後の施設集積、施設計画 (2) ｱｸｾｽ道路の現状、課題、整備計画 (3) 附帯施設の整備計画 ① 駐車場 ② 調整池 ③ 公園(児童) ④ その他	町　長

質問項目	質問事項	質問の相　手
(資産を生かす) ２．山手町有地の活用について現状、計画を伺う。	山手地内の町有地は防災施設としての活用がなされたが、現状と資産を生かす施策について伺う。	町　長

第１５８回　６月定例会　一般質問の順序と要旨

発言議員：　藤井　昌彦　　　　　　　　　　　　　　　　No.３

質問項目	質問事項	質問の相　手
１．ﾜｰﾙﾄﾞﾏｽﾀｰｽﾞｹﾞｰﾑｽﾞ開催につて	令和９年待ちに待った 2027 ﾜｰﾙﾄﾞﾏｽﾀｰｽﾞｹﾞｰﾑｽﾞ関西ｵﾘｴﾝﾃｰﾘﾝｸﾞ大会が開催される。 (1) 準備の進捗状況は (2) 町としての期待するもの (3) ﾚｶﾞｼｰとしてどう活かすのか 　観光産業、子どもたち	町　長 教育長

質問項目	質問事項	質問の相　手
2. 登山ｲﾝﾀｰﾊｲについて	今年、全国高等学校総合体育大会登山競技が香美町、豊岡市、養父市で開催される。 (1) 準備の進捗状況は (2) 町としての期待するもの (3) ﾚｶﾞｼｰとしてどう活かすのか 　子どもたち	教育長

第１５８回　６月定例会　一般質問の順序と要旨

発言議員：　西谷　　尚　　　　　　　　　　　　　　No.４―１

質問項目	質問事項	質問の相　手
1. 冬季ｽｷｰ場へのｱｸｾｽ道について問う。	香美町のｽｷｰ場へのｱｸｾｽ道路と冬季道路管理について 道路交通網は、住民の日常生活や地域経済を支える重要な社会基盤です。特にｽｷｰ産業においては、利用者が安全かつ円滑にｽｷｰ場へｱｸｾｽできる道路環境の整備が、受け入れ態勢の重要な要素であると考えます。 前ｼｰｽﾞﾝの各ｽｷｰ場の入込客数を見ると、 ･ﾊﾁ北ｽｷｰ場：104,783 人(前年対比 94.1%) ･ｽｶｲﾊﾞﾚｲｽｷｰ場：29,490 人 (前年対比 89.5%) ･おじろｽｷｰ場：38,072 人(前年対比 76.1%) となっており、全体として減少傾向にあります。 ｽｷｰ場の利用者数には、積雪状況や景気動向など様々な要因が影響しますが、安全で安心して利用できるｱｸｾｽ道路の確保も重要な要素の一つであると考えます。 そこで、冬季における道路管理と安全対策について、以下の点を伺います。 (1) 前期(2025 年 12 月~2026 年 3 月)ｼｰｽﾞﾝの除雪体制について 前ｼｰｽﾞﾝの除雪体制において、除雪作業の遅れや対応上の課題など、問題はなかったのか伺います。 (2) 今期ｼｰｽﾞﾝの除雪体制について 除雪業務の委託事業者においては、燃料価格の高止まりや除雪車両価格の高騰、維持管理費の増加、さらには運転手不足など、多くの課題を抱えていると考えます。 こうした状況を踏まえ、来ｼｰｽﾞﾝ以降の除雪体制や対応方針はどのように変わるのか伺います。 （次ページあり）	町　長

第１５８回　６月定例会　一般質問の順序と要旨

発言議員：　西谷　　尚　　　　　　　　　　　　　　　No.４－２

質問項目	質問事項	質問の相　手
	(3) 冬季の道路損傷への対応について 　冬季期間中に発生した道路の損傷や路面の不具合に対する対応について、問題はなかったのか伺います。 (4) 積雪・凍結による事故対策について 　冬季期間中、積雪や路面凍結に起因する交通事故や車両ﾄﾗﾌﾞﾙについて、地域住民の生活に支障を及ぼすような問題はなかったのか伺います。 　また、事故が頻発する箇所があるのであれば、道路改良や安全対策の強化も必要であると考えますが、町道・県道も含め町長の見解を伺います。	
質問項目	質問事項	質問の相　手
２．町指定ｺﾞﾐ袋の安定供給について問う。	町指定ごみ袋の安定供給は維持できるのか。 近年、国際情勢の変化や原材料価格の高騰が、私たちの日常生活に様々な影響を及ぼしています。 特に中東情勢の不安定化により、石油製品の原料となるﾅﾌｻの供給不安や価格高騰が懸念されており、その影響はﾋﾞﾆｰﾙ製品やﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製品全般の製造・流通にも及んでいます。 町指定ごみ袋についても例外ではなく、実際に県内の一部自治体では指定ごみ袋の品薄や欠品が発生し、一時的な措置として指定ごみ袋以外の透明・半透明袋でのごみ出しを認める対応を行った事例も見受けられます。 ごみの収集は住民生活に直結する行政ｻｰﾋﾞｽであり、指定ごみ袋の供給が滞れば、住民生活に大きな混乱を招く可能性があります。また、高齢者世帯や子育て世帯においては、必要なごみ袋を購入できない状況が続けば大きな負担となります。 （次ページあり）	町　長

第１５８回　６月定例会　一般質問の順序と要旨

発言議員：　西谷　　尚　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　№.４―３

質問項目	質問事項	質問の相　手
	そこで、町指定ごみ袋の安定供給について、以下の点を伺います。 (1) 現在の供給状況について 香美町の指定ごみ袋について、現在の在庫状況や供給体制はどのようになっているのか伺います。 また、製造事業者や販売事業者から供給不安や納期遅延などの報告は受けているのか伺います。 (2) 供給不足への備えについて 今後、原材料価格の高騰や物流の混乱などにより、指定ごみ袋の不足が発生する可能性はあるのか伺います。 また、そのﾘｽｸをどのように分析し、把握しているのか伺います。 (3) 緊急時の対応について 万が一、指定ごみ袋の欠品や品薄が発生した場合、住民生活への影響を最小限に抑えるため、どのような対応を想定しているのか伺います。	

第１５８回　６月定例会　一般質問の順序と要旨

発言議員：　松岡　大悟　　　　　　　　　　　　　　No.５

質問項目	質問事項	質問の相手
１．小代区が加盟している「日本で最も美しい村」連合の活動において、町行政としての今後の関わり方について問う。	小代区が「日本で最も美しい村」連合に加盟したのが 2012 年 10 月、今年で加盟から 14 年が経過し、15 年目という節目を迎えています。 加盟から現在までも町はその活動を後押ししてきた事は理解していますが、その活動が継続してこられたのは、小代区民のｱｲﾃﾞﾝﾃｨﾃｨｰからなる組織や想い、住民活動で継続してこられたのも事実だと思います。 今後もこの「日本で最も美しい村」連合加盟というﾌﾞﾗﾝﾄﾞを活かし、小代のﾌﾞﾗﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ・産業活性に繋げてほしいとの思いから町長の所見を伺います。 そこで以下の質問です。 (1) 小代区が「日本で最も美しい村」連合に加盟している事を香美町としてどう捉えているのか。 (2) 香美町として「日本で最も美しい村」連合に加盟している小代区に今後どのような活動を期待しているのか。 町長の所見を伺います。	町　長

第１５８回　６月定例会　一般質問の順序と要旨

発言議員：　脇坂　英作　　　　　　　　　　　　No.６－１

質問項目	質問事項	質問の相　手
１．地域計画に対する町の基本姿勢について問う。	農業経営基盤強化促進法に基づく地域農業経営基盤強化促進計画、いわゆる地域計画について伺います。 これまでの答弁では、地域計画について、地域から策定したいという声があれば支援するという趣旨の答弁があったと認識しています。 一方で、地域計画の前提となる本町の農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想では、香美町を主語として、集落段階における農業の将来展望と、それを担う経営体を明確にするため、話合いを促進するとされています。 そこで、以下の点を伺います。 ⑴ 本町は、地域計画を農地の利用促進や農業振興を進めるうえで、どのような位置づけの計画として認識しているのか。 ⑵ 基本構想に掲げる「集落段階での話合いの促進」を踏まえ、現在の「地域から要望があれば支援する」という姿勢を基本としている理由は何か。	町　長
質問項目	質問事項	質問の相　手
２．地域計画策定に向けた説明会と町の支援内容について問う。	地域計画を策定するには、協議区域の設定、関係者への呼びかけ、農地所有者や担い手の意向把握、協議の場の運営、目標地図の作成などを進める必要があります。 特に、担い手や地域の中核となる経営体が少ない地域、また既存の話合いの場が十分でない地域ほど、地域だけで策定に向けた動きを起こすことは難しいと考えます。 そこで、以下の点を伺います。 ⑴ 地域計画を作りたい、又は関心がある農業関係者がいる場合、町はどの程度の地域の声があれば、説明会の開催や協議の場づくりに関与する考えがあるのか。 ⑵ 町の支援とは、協議区域の設定、意向調査、協議の場の運営、目標地図の作成、関係機関との調整などについて、どの程度行うことを想定しているか。	町　長

第１５８回　６月定例会　一般質問の順序と要旨

発言議員：　脇坂　英作　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　№.６－２

質問項目	質問事項	質問の相　手
３．地域計画を活用した農業振興施策について問う。	本町では、農業近代化施設整備事業補助金により、農業振興に向けた町独自の支援が行われてきました。町長は、この町単独補助について、有効な施策であったという認識であると承知しています。 一方で、町単独事業だけで、国･県補助と同等の補助率や支援規模を継続的に確保することは、町財政の面からも難しいと考えます。 今回の定例会に提出された議案の中には、町単独補助から、地域計画への位置付け等が必要となる補助事業を活用する事例が見受けられます。地域計画があることで、制度変更や補助対象の拡大があった際に、補助率や支援規模の面で有利な国･県補助を活用する選択肢を持てることが示されたものと考えます。 地域計画が未策定の地域では、利用したい補助制度の対象が拡大･新設されたとしても、その時点から地域計画を作り始めていたのでは、申請や事業活用に間に合わない可能性があります。その結果、農業経営の発展や農地利用の維持に向けた支援を受ける機会を逃し、本町の農業振興施策の効果を十分に高められないのではないかと考えます。 そこで、以下の点を伺います。 (1) 地域計画が未策定であることにより、活用できる国･県補助制度の選択肢が限られることが、本町の農業振興に影響すると考えるが、町はどのように認識しているのか。 (2) 地域計画が未策定であることにより国･県補助の活用が難しくなる農業者について、町単独補助だけで十分な支援を行うことには限界があると考えるが、町はどのように認識しているのか。 (3) 農業振興地域を有する地区については、農業上の利用を図るべき区域であることも踏まえ、町が積極的に話合いを促進する必要があるのではないか。	町　長

第１５８回　６月定例会　一般質問の順序と要旨

発言議員：　伊藤　敦紀　　　　　　　　　　　　　　　　№.７

質問項目	質問事項	質問の相　手
１．Uﾀｰﾝ促進に向けた取組の現状と課題について	人口減少対策として若い世代の定着やUﾀｰﾝの促進は重要であり、昨年６月定例会では、町出身者であるUﾀｰﾝが移住施策における最有力層であるとの認識が示された。 また、既存施策の見せ方や情報発信の在り方について提言を行い、町長からは今後の検討課題として受け止める旨の答弁があった。 そこで、昨年の一般質問以降の取組状況とその成果を検証するとともに、現状の課題認識及び今後の方向性について伺う。 (1) 昨年の一般質問以降、Uﾀｰﾝ促進や情報発信の改善に関してどのような検討･取組を行い、その結果どのような成果や課題があったのか。 (2) 町は現在、Uﾀｰﾝ促進における課題をどのように認識しているのか。 (3) 今後、町出身者とのつながりの維持やUﾀｰﾝ促進に向けて、どのような取組を考えているのか。	町　長

第１５８回　６月定例会　一般質問の順序と要旨

発言議員：　山本　賢司　　　　　　　　　　　　　　　　　№.８―１

質問項目	質問事項	質問の相手
１.乳幼児、こども医療費無料制度が掘り崩される危険が生まれている。	健康保険法が改訂され OTC(ｵｰﾊﾞｰ･ｻﾞ･ｶｳﾝﾀｰ)類似薬等、療養が一部保険適用外となる。現時点では、こども(高校生年代まで)などは対象外とする、とされている。 医療保険適用拡大の方向からの転換であり、今後は厚労省の判断で保険外しの範囲拡大が可能となる。町長の施策成果が国によって掘り崩されかねない。 どう考えているのか。	町　長

質問項目	質問事項	質問の相手
２．町は造林された山を財産として評価しているのか。	村岡町時代に“600 ha町行造林”から 50 年以上経過した。合併後、縁故地使用のあり方を 3 区統一し、その多くが名実ともに町有とされた。 森林環境税も新設され、町の計画をつくり国が新たな国産林材活用の長期計画をつくろうとしている。 町行造林、分収育林を財産として評価をどうしているか、どう活かしてくか。	町　長

第１５８回　６月定例会　一般質問の順序と要旨

発言議員：　山本　賢司　　　　　　　　　　　　　　№.８－２

質問項目	質問事項	質問の相　手
３．農地を守るために (1) 水路整備へ (2) 期中制度変更	(1) 香住区では、ほ場整備が進んでおり、一部頭首工などが課題とされている。 村岡区、小代区では、特に水路維持が大きな負担となっている。全体調査を行って、水路整備策をつくるべきではないか。 (2) 中山間地等直接払い制度などの各支援策が期中にもかかわらず変更されるという。本町にとってどう影響すると見るか。	町　長

質問項目	質問事項	質問の相　手
４．村岡区中央公民館改築の検討状況はどうなっているのか。住民と共に検討すべき。	昨年６月に“内部で体育館、地域局舎などと複合施設として検討し、視察なども行っている”とした。その後“耐用年数などで村岡区中央公民館単独での改築とする”とされた。 この検討状況はそうなっているのか。住民と共に検討するよう、状況を共有すべきだ。	町　長 教育長

第１５８回　６月定例会　一般質問の順序と要旨

発言議員：　中村　崇志　　　　　　　　　　　　　　　　　№9－１

質問項目	質問事項	質問の相　手
１．高齢化が進む行政区、今後について問う。	(1) 117 地区(自治区/会)の高齢化率 50%･80%を超えている行政区はいくつあるのかそれぞれ伺う。 (2) 高齢化率の高い行政区と課題や今後の方向性など対話ができているか伺う。 (3) 限界集落の町民が｢孤立｣しない仕組みを構築出来ているか伺う。	町　長

質問項目	質問事項	質問の相　手
２．業務量管理・健康確保措置実施計画について問う。	(1) 過労死基準(時間外労働 80 時間/ひと月)を越える教員が 4 人いる状況、教育委員会としてどうとらえているか伺う。 (2) どの時期に、どのような業務で過重労働になっているのか伺う。 (3) 4ｶ年計画の初年度がｽﾀｰﾄしているが、改善するために具体的な策が打てているか伺う。 (4) 教員でなくとも出来る事務作業があれば事務職側へ完全移管・集約することを提案する。	教育長

第１５８回　６月定例会　一般質問の順序と要旨

発言議員：　中村　崇志　　　　　　　　　　　　　　　№9－２

質問項目	質問事項	質問の相　手
３．観光戦略(町内 広域 回遊型)について問う。	(1) 現在の観光客の動線や滞在時間､回遊性の現状をどのように分析しているか。 (2) 単なる｢抽選で景品が当たる記念ｲﾍﾞﾝﾄ｣ではなく､本町の課題を解決するための｢戦略的ﾃﾞｼﾞﾀﾙｽﾀﾝﾌﾟﾗﾘｰ｣の導入を提案する。以下の 3 つの仕組みについて､町の導入に向けた見解を伺いたい。 ①｢山海直結ﾙｰﾙ｣の設定 景品応募やｸｰﾎﾟﾝ獲得の必須条件として｢海のｽﾎﾟｯﾄ(香住)｣と｢山のｽﾎﾟｯﾄ(村岡または小代)｣の双方のｽﾀﾝﾌﾟを最低 1 つ以上集めることを義務付ける設計 ②ﾃﾞｼﾞﾀﾙ地域通貨･ﾎﾟｲﾝﾄとの連動 ｽﾀﾝﾌﾟ達成者に対し､町内の飲食店､土産物店､直売所(道の駅など)でその場ですぐに使えるﾃﾞｼﾞﾀﾙｸｰﾎﾟﾝを即時発行し､｢地域内でのついで買い(経済効果)｣をその場で誘発させる仕掛け。 ③ｵﾌｼｰｽﾞﾝ(春･夏)への集中投資 通年ﾀﾞﾗﾀﾞﾗと行うのではなく､観光客が落ち込む春(4～5 月)や夏(7～8 月)のｸﾞﾘｰﾝｼｰｽﾞﾝに期間を限定し､但馬牛や棚田､ｼﾞｵﾊﾟｰｸの絶景を巡るﾃｰﾏ型として実施し､予算を集中投下すること。 (3) ﾃﾞｼﾞﾀﾙｽﾀﾝﾌﾟﾗﾘｰの最大のﾒﾘｯﾄは､観光客が｢どこから来て､どのﾙｰﾄで動き､どこでお金を使ったか｣という行動･購買ﾃﾞｰﾀがﾘｱﾙﾀｲﾑで可視化できる点にある。 　このﾃﾞｰﾀを商工会､観光協会等と共有･分析し､前例踏襲ではない､ﾃﾞｰﾀに基づく次の一手(ﾀｰｹﾞｯﾄを絞ったﾋﾟﾝﾎﾟｲﾝﾄの広告や施策)に活かすべきと考えるが､町が目指すﾃﾞｰﾀ駆動型観光(観光 DX)への展望を伺う。	町　長

第１５８回　６月定例会　一般質問の順序と要旨

発言議員：　山根　典明　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　№.１０―1

質問項目	質問事項	質問の相　手
１．商品であって使用しない軽自動車などについて軽自動車税免除は各市区町村で違う様ですが？	中古車販売を目的とした業者が商品車として展示･販売するﾅﾝﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ付き普通自動車について兵庫県は免税としている様ですが､軽自動車に関しては､各市区町村に委ねているようです。 (1) 申請書を見る限り香美町は免税対象では無いようですが､先般豊岡市でも令和 7 年度から免税対象として受理される様です｡近隣自治体の香美町の見解は? (例 豊岡市 6 事業者から届出があった計 40 台の商品車が免除することとしている｡)	町　長

質問項目	質問事項	質問の相　手
２．｢700 人の村が一つのﾎﾃﾙに｣という本を読まれたことがありますか?	先般､古本で大変興味深い本を見つけ読み終えた時､香美町の地方創生に役立つと思いました。 山梨県小菅村 多摩川源流に位置し最盛期 2200 人いた人口が 40 年で 3 分の 1 まで減少し何とかして欲しいと村長が相談しこの本の作者で｢さとゆめ｣の代表者 嶋田俊平氏が着手して再生し 2 つの画期的なﾎﾃﾙを 2019 年にｵｰﾌﾟﾝし全国から注目され若い移住者が多数来て昨年の調査では 615 名となっています。 (1) 限界集落について具体的な対策はありますか? (2) 古民家再生を町が主に動く必要があるのでは? (3) 空き家対策措置法改正(2023 年 12 月)により空き家の放置は少し改善されましたか? (4) 香美町に特化した課･ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄが必要では?	町　長

第１５８回　６月定例会　一般質問の順序と要旨

発言議員：　山根　典明　　　　　　　　　　　　　　　　№.１０－２

質問項目	質問事項	質問の相　手
３．各区の道路事情急傾斜地による側溝の清掃・樹木の伐採など要望はどうなっているか？	昨年秋射添地区の区長会に参加し国･県事業に対する要望書を資料として提出状況をお聞きし「3 年連続で出しています」など色々な状況をお聞きしました。 (1) 実際に県道に関しては日々ﾊﾟﾄﾛｰﾙに回っていますが、倒木や岩が転がっていないと動いていただけない。町として要望書のﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸは万全? (2) 梅雨の時期となり年々危険を増す地域の多い中人命に及ぶ前に出来る町としての対策は?	町　長

第１５８回　６月定例会　一般質問の順序と要旨

発言議員：　村田　行信　　　　　　　　　　　　　　　　　　　No.１１

質問項目	質問事項	質問の相　手
１．第3期香美町総合戦略の初年度における施策の実行について(観光)	第3期香美町総合戦略では、基本的方向4「観光の振興」において、地域連携DMO「(一社)麒麟のまち観光局」や関係自治体と連携した広域周遊ﾙｰﾄの造成を掲げている。また、その成果指標として「新たな広域周遊ﾙｰﾄ数」が設定されている。 一方で、第2期総合戦略の事業評価では、麒麟のまち観光局が体験ｺﾝﾃﾝﾂ造成、ﾓﾆﾀｰﾂｱｰ、ｲﾝﾊﾞｳﾝﾄﾞ対策、広域ﾂｱｰ造成などを担ってきたことが確認できる。 そこで次の点について伺う。 (1) 第3期総合戦略において、本町は麒麟のまち観光局をどのように位置付けているのか。 (2) 第3期総合戦略で掲げる「新たな広域周遊ﾙｰﾄ数」の目標達成に向けて、麒麟のまち観光局や関係自治体との連携をどのように進めていく考えか。	町　長

質問項目	質問事項	質問の相　手
２．第3期香美町総合戦略の初年度における施策の実行について(移住定住)	第3期香美町総合戦略では、「移住定住の促進」を基本的方向として位置付け、本町への移住に関心を持つ人を増やすための情報発信、移住相談体制の充実、移住体験ﾂｱｰの実施、移住者交流の促進、交流拠点の整備など、多様な施策を掲げている。 そこで次の点について伺う。 (1) 第3期総合戦略初年度において、移住定住施策をどのような体制・ｽｹｼﾞｭｰﾙで推進していく考えか。 (2) 各施策の中で特に重点的に取り組む施策は何か。 (3) 移住相談数、移住定住ﾌｪｱ参加回数、移住定住に関するﾂｱｰやｲﾍﾞﾝﾄ開催数などのKPIが設定されているが、これらの指標を最終的にどのような移住・定住の成果につなげていく考えか。	町　長

第１５８回　６月定例会　一般質問の順序と要旨

発言議員：　森浦　繁　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　№.１２－１

質問項目	質問事項	質問の相　手
１．ﾄﾞｸﾀｰﾍﾘの運行対策について問う。	ﾄﾞｸﾀｰﾍﾘの全面運休の恐れがあると聞いていますが、町としてどのような対策をするのか。 (1) 現在のﾄﾞｸﾀｰﾍﾘの業況について (2) 今後のﾄﾞｸﾀｰﾍﾘの運行について (3) 町としての対策について伺う	町　長

質問項目	質問事項	質問の相　手
２．町所有のﾏｲｸﾛﾊﾞｽの運用について問う。	令和８年５月６日、福島県内の盤越自動車道において部活動遠征中の高校生らを乗せたﾏｲｸﾛﾊﾞｽが事故を起こし、生徒の１人が死亡、複数の負傷者が出る痛ましい事故が発生した。報道では運行管理や運転者の確認・安全管理のあり方についても、問題点が指摘されている。 (1) 町所有ﾏｲｸﾛﾊﾞｽの台数、ｽｸﾙｰﾊﾞｽ以外の主な利用方法、利用団体、年間の利用状況は。 (2) 車両点検、定期点検、ﾀｲﾔ、ﾌﾞﾚｰｷ等の安全は、誰が、どのような基準で実施しているか。 (3) 町所有ﾏｲｸﾛﾊﾞｽの運転する乗務員・職員等に対し安全運転講習、事故防止研修、運行前確認などの安全教育は、実施されているか。 (4) 運転者の健康状態、年齢、運転経験、免許区分、飲酒運転確認、疲労状態等について運行前にどのような確認体制を取っているのか。 (5) 長距離運行や早朝・夜間運行、児童生徒を乗せる運行について、運転時間、休憩時間、交代要員の配置など特別な安全基準を設けているか。 (6) 今回の盤越道での事故を受け、町として町所有ﾏｲｸﾛﾊﾞｽの運行基準や安全管理体制や点検を見直す考えは、あるのか伺う。	町　長

第１５８回　６月定例会　一般質問の順序と要旨

発言議員：　森浦　繁　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　№.１２－２

質問項目	質問事項	質問の相　手
３．児童の通学における安全確保と保護者負担の軽減について問う。	(1) 猛暑､獣害､防犯上の不安がある中､長距離歩行通学を余儀なくされている児童の通学実態をどのように認識しているか｡ (2) 通学定期を町が負担している児童と､距離要件等によりｷﾞﾘｷﾞﾘで､対象外となっている家庭との間に生じている不公平感について､どのように考えているか｡ (3) 物価高騰により子育て世帯の負担が増える中児童の安全確保と保護者負担軽減の観点から､路線ﾊﾞｽ通学に係る定期代補助の拡充､または柔軟な適用を検討する考えはないか伺う。	教育長

第１５８回　６月定例会　一般質問の順序と要旨

発言議員：　谷口　眞治　　　　　　　　　　　　No.１３―１

質問項目	質問事項	質問の相　手
１．憲法改正について問う。	戦後、憲法９条のもとで「平和国家」の原則(①軍事費 GDP 比 1 ﾊﾟｰｾﾝﾄ②敵基地攻撃能力は持てない③専守防衛④武器輸出禁止⑤集団的自衛権行使⑥非核 3 原則⑦憲法 9 条)が次々と壊され、「戦争する国家」づくりがすすめられようとしているのではないか。平和国家の大原則である「憲法 9 条」について町長の考えを問う。 (1) 憲法とは 高市首相は「国の理想の姿を物語る」と言っているが、国民の権利と自由を守るために、権力を縛るﾙｰﾙが憲法ではないか。 (2) 誰が憲法を守るのか。 憲法 99 条は「天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他公務員は、この憲法を尊重し、擁護する義務を負う」とし、国民に憲法遵守義務はない。 (3) 国論を 2 分する憲法改正はやってはならないではないか。 憲法 96 条は憲法改正手続きについて、各議院の 3 分の 2 以上の賛成で国会が発議し、国民に提案して過半数の承認を経なければならないとされている。憲法遵守義務がある国務大臣の長である高市首相が「時は来た」と、改憲の旗振りをして改憲をあおることは許されないのではないか。 (4) 世界に誇る憲法 9 条とその力は。 憲法 9 条第 1 項で「戦争と、武力による威嚇又は武力の行使」を放棄。第 2 項で「陸海空軍その他の戦力はこれを保持しない。交戦権はこれを認めない。」とする「恒久平和主義」の憲法は日本だけのものである。憲法 9 条は日本国民の命、自衛隊員の命、相手国の国民の命を守る「盾」となって働いてきたのではないか。 （次ページあり）	町　長

第１５８回　６月定例会　一般質問の順序と要旨

発言議員：　谷口　眞治　　　　　　　　　　　　　　№.１３－２

質問項目	質問事項	質問の相　手
	1946 年日本国憲法成立後の日本は、一度も直接参戦したことがなく、1954 年に自衛隊が創設されたが、自衛隊が今日まで一人の外国人を殺していないし、一人の戦死者も出していない。憲法9条の力そのものが働いているのではないか。 (5)憲法改正でなく、憲法を守り、生かすことが大切ではないか。 日本国憲法は、第3章に 30 条にわたって基本的人権の規定が盛り込まれている世界でも先駆的で豊かな人権規定を持っている。平和と人権は密接不可分。憲法前文では、平和のうちに生存する権利―「平和的生存権」が規定されている。自衛隊の存在を書き込む 9条改定案は、自衛隊の海外での武力行使が無制限に行えるようになり、平和国家から戦争国家への大変質となり、ゆるされない。憲法改正でなく、憲法を守り生かす政治の実現こそ大切ではないか。	
質問項目	質問事項	質問の相　手
２．物価高･資材不足からくらしと営業を守る緊急対策について問う。	(1) ｲﾗﾝ戦争がもたらす物価高と資材不足が深刻化している。国の補正予算は、政府の裁量で使い道が決められる予備費の積み増しが大半を占め、使途もｶﾞｿﾘﾝ代や電気･ｶﾞｽ料金の補助など従来の延長戦上にとどまっている。帝国ﾃﾞｰﾀﾊﾞﾝｸによると、6月の飲食料品の値上げは 1078 品目にのぼり、4 月の倒産件数は 899 件と 5 か月連続で前年を上回り、4 月として過去 10 年で最高である。補正予算には年金生活者や低所得者などの暮らし、中小企業の営業に対する支援はありません。物価高騰に合った年金の臨時的改定や様々な福祉的手当の引き上げ、原材料不足に追い込まれた中小企業への固定費補助や資金繰り支援が必要です。ﾅﾌｻなど石油関連製品の供給不足も深刻である。原油や石油関連製品の需給の実態を正確に把握して、医療など国民生活に欠かせない分野に優先的供給を図ることや価格の安定に政府が責任を持つことが欠かせない。後手にならないように国へ要請すべきではないか。 （次ページあり）	町　長

第１５８回　６月定例会　一般質問の順序と要旨

発言議員：　谷口　眞治　　　　　　　　　　　　　　　　　　　№.１３―３

質問項目	質問事項	質問の相　手
	(2) 町単独で実施した令和 7 年度物価高騰対策応援券配布事業の使用期限(8 月末)が近づいているが、進捗状況と効果について伺う。「大変助かったが、長期化する物価高にもう一度応援券の配布を」という声が寄せられている。9 月以降のくらしと営業を守る物価高騰対策をどのように考えているのか。 (3) 国保税の引き上げは物価高騰対策として避けるべきではないか。今議会に国保税条例の改正において、令和 8 年度国民健康保険税額(案)として、一人当たりでは 3,058 円増額の 146,919 円、1 世帯当たりでは、3,129 円増額 209,716 円が提案されているが、これでは物価高にさらなる負担の追い打ちとなり、物価高騰対策に逆行する。基金取り崩し額をあと 1,000 万円追加すれば、増額せずに据え置きできる。物価高騰対策として、国保税を据え置きすべきではないか。	町　長

質問項目	質問事項	質問の相　手
３．香美町最終処分場の廃止に向けた環境保全対策について問う。	香美町最終処分場に「ｸﾘｰﾝﾊﾟｰｸ北但」の焼却灰等の搬入の契約期限(8 月)が近づき、最終処分場の廃止手続きの準備に入ろうとしている。最終処分場の廃止に当たっては、浸出水の矢田川放流についてﾀﾞｲｵｷｼﾝ類などによる環境汚染を懸念している。その抜本的解決策として、最終処分場の浸出水の矢田川放流を止め下水道施設への放流を求めてきた。5 月 21 日に北但行政事務組合議会が視察した豊岡市最終処分場においては、地域住民の声に応えて、日量 91 ﾄﾝの処理水を下水道施設へ放流している。今からでも遅くない。香美町でも豊岡市に学び、処理水・浸出水の下水道施設への放流を検討すべきではないか。	町　長

第１５８回　６月定例会　一般質問の順序と要旨

発言議員：　田野　公大　　　　　　　　　　　　　　No.１４―１

質問項目	質問事項	質問の相　手
１．人口減少が進む中での町の活性化にどう取り組むか。	少子高齢化に人口減少は止めることのできない国ﾚﾍﾞﾙの大きな課題であると言われています。そんな中､我が町は県内で最も少子高齢化が進み高い人口減少率を示していることが､新聞報道などで示されていました。 人口減少の問題はただ単に人口が少なくなることだけに留まらず､拡大してきた経済･産業･公共ｻｰﾋﾞｽ･施設の充実など､すべての社会資本の見直しや縮小が現実の課題として浮き彫りになってきつつある｡そんな時代にどう備えていくかも大きな課題である｡最近では｢ﾀｳﾝ｣と｢ﾀﾞｳﾝｻｲｼﾞﾝｸﾞ｣をもじった｢ﾀｳﾝｻｲｼﾞﾝｸﾞ｣などの言葉も聞かれるようになっています｡そのような状況から直接的な人口減少対策を考えるのではなく､無理な人口目標よりも｢どんな町でありたいか｣｢住民がどれだけ幸せに暮らせるか｣の視点から｢縮んでも豊かな町｣｢少なくても幸せな町｣｢自然と人のつながりが残る町｣などや､関わりやすさ､余白の多さ､挑戦のしやすさの有利性から｢小さいからこそ挑戦のできる実験の町｣のようなﾋﾞｼﾞｮﾝの具現化により､若者のｷｬﾘｱ観(近年の若者のｷｬﾘｱ観で重視されるのはﾜｰｸﾗｲﾌﾊﾞﾗﾝｽ･やりがい･社会貢献･自己実現･地域とのつながり･副業･起業などと言われています)にﾏｯﾁした施策の展開が図られ､住みたい･行きたい･帰りたい町として､小さくても活気のある町へと創生していくべきと考えるが､町長の考える方向性･具体的な施策の展望を伺う。 （次ページあり）	町　長

第１５８回　６月定例会　一般質問の順序と要旨

発言議員：　田野　公大　　No.１４―２

質問項目	質問事項	質問の相　手
〃	上記の観点から、児童・生徒へのｷｬﾘｱ教育において、またｺﾐｭﾆﾃｨｽｸｰﾙの主旨からも、子どもたちの将来のｷｬﾘｱ観の醸成とﾛｰﾙﾓﾃﾞﾙ活用（地元で起業などｷｬﾘｱを築いた大人をﾓﾃﾞﾙとして）をすることで、将来町で何かをしたい、町の役に立ちたい、ここで自己実現に取り組みたいなどの、現実的で実現可能な具体的ｲﾒｰｼﾞが醸成されるのではないか。また現代は昔と違い子どもたちも社会の一員としての役割が重要視されているのではないかと考えるが、教育長の考えを伺う。	教育長